

疾病の成り立ちと回復の促進

疾病の成り立ちと回復の促進

目標Ⅰ. 健康から疾病を経て回復に至る過程について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 疾病の成立と疾病からの回復	A 疾病の原因	a 疾病を引き起こす内的・外的要因	<p>病理学：第1章B「病気の原因」(p.6~11) 病態生理学：第1章A-2「正常性をゆがめる要因」(p.2~4) 医学概論：第4章B「病気の原因」(p.59~68) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章C「生活行動がもたらす健康問題とその予防」(p.169~180) 栄養学：第10章A「食生活の変遷と栄養の問題点」(p.244~247)、B「生活習慣病の予防」(p.247~248) 病理学：第1章B「病気の原因」(p.6~11) 病態生理学：第1章A-2「正常性をゆがめる要因」(p.2~4) 総合医療論：第3章C「疾病の一次予防と健康増進」(p.73~77) 社会保障・社会福祉：第8章F-1-3「疾病の社会化」(p.244~245)</p>
	B 生体の回復	a 回復過程 b 回復に影響する身体・心理・社会的因子	<p>病態生理学：第1章A-3「正常への回復に影響する要因」(p.4) 病態生理学：第1章A-3「正常への回復に影響する要因」(p.4)</p>

目標Ⅱ. 疾病による身体内部の変化について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 基本的な病変	A 細胞の障害	a 萎縮	<p>病理学：第2章A-2-1「萎縮」(p.15) 病態生理学：第1章C-1「細胞の損傷と適応現象」(p.9~10) 医学概論：第5章A-3-2「萎縮」(p.77~78) 病理学：第2章A-4「細胞と組織の変性」(p.37) 病態生理学：第1章C-1「細胞の損傷と適応現象」(p.9~10) 医学概論：第5章A-3-1「変性」(p.77)</p>
		b 変性	<p>病理学：第2章A-3「細胞の死」(p.19) 病態生理学：第1章C-2「細胞の死」(p.10~11) 医学概論：第5章A-3-3「壊死」(p.78)</p>
		c 壊死とアポトーシス	<p>病理学：第2章A-3「細胞の死」(p.19) 病態生理学：第1章C-2「細胞の死」(p.10~11) 医学概論：第5章A-3-3「壊死」(p.78)</p>
B 細胞の障害に対する修復・再生・適応	a 創傷とその治癒	<p>病理学：第2章B「組織の修復と創傷治癒」(p.23~26) 病態生理学：第1章C-4-2「創傷治癒」(p.13) 臨外看護：第1章B「手術侵襲と生体の反応」(p.12~20)、第3章A-2「創傷管理」(p.146~152)、第9章D「創傷治癒の看護」(p.363~371) クリティカルケア看護学：第3章I-1-3「創傷の治癒過程」(p.99)</p>	
	b 再生と修復	<p>病理学：第3章A「細胞の損傷と適応」(p.32~37)、第5章A「炎症」(p.72~77) 病態生理学：第1章C-1「細胞の損傷と適応現象」(p.9~10)</p>	
	c 肥大と過形成	<p>病理学：第2章A-1-2「肥大と過形成」(p.16) 病態生理学：第1章C-1「細胞の損傷と適応現象」(p.9~10)</p>	
C 基本的な病変とその機序	a 循環障害	<p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第3章B-1「循環障害に関連する症状のメカニズム」(p.146~152) 病理学：第3章「循環障害」(p.28~48) 病態生理学：第1章B「循環障害」(p.4~8)</p>	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 炎症・壊疽	<p>クリティカルケア看護学：第3章 A-2「侵襲に対する生体反応」(p.43～48)</p> <p>医学概論：第5章 A-1「血行障害による病変」(p.72～77)</p> <p>病理学：第4章 A「炎症とその分類」(p.50～54)</p> <p>病態生理学：第1章 C-4「炎症」(p.12～14)</p> <p>薬理学：第4章 B「炎症と抗炎症薬」(p.118～124)</p> <p>微生物学：第7章 A-6「炎症性サイトカインと急性期反応」(p.103)</p> <p>臨外看総：第1章 C「炎症」(p.20～25)</p> <p>クリティカルケア看護学：第3章 A-2「侵襲に対する生体反応」(p.43～48)</p> <p>医学概論：第5章 A-4「炎症」(p.78～85)</p>
		c 免疫異常(アレルギー、自己免疫疾患)	<p>成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 C「アレルギーのしくみ」(p.21～25)、第4章「症状と疾患の理解」(p.36～46)</p> <p>成人看護学 [11] (膠原病)：第2章「自己免疫疾患とその機序」(p.98～102)、第3章「症状とその病態生理」(p.104～109)、第5章「疾患の理解」(p.124～150)</p> <p>病理学：第4章 B「免疫と免疫不全」(p.54～60)、D「アレルギーと自己免疫疾患」(p.61～69)</p> <p>病態生理学：第3章 C「免疫反応の過剰」(p.46～54)</p> <p>薬理学：第4章「抗アレルギー薬・抗炎症薬」冒頭(p.114～115)</p> <p>微生物学：第7章 B-7「アレルギー(過敏症)」(p.124)、B-8「自己寛容と自己免疫」(p.124)</p> <p>クリティカルケア看護学：第3章 A-2「侵襲に対する生体反応」(p.43～48)</p>
		d 代謝障害	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B「代謝疾患」(p.132～184)</p> <p>生化学：第17章「代謝の異常」(p.252～263)</p> <p>病理学：第6章「代謝障害」(p.94～104)</p> <p>クリティカルケア看護学：第3章 A-2「侵襲に対する生体反応」(p.43～48)</p>
		e 老年症候群	<p>老年看護 病態・疾患論：第2章「老年症候群」(p.38～79)</p> <p>病理学：第7章 A「個体の老化と老年症候群」(p.106～107)</p>
		f 先天異常(遺伝子異常)	<p>病態生理学：第1章 G-1-2「個体の老化」(p.24～25)</p> <p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2～14)</p> <p>生化学：第19章「先天性代謝異常」(p.292～296)</p> <p>病理学：第8章「先天異常と遺伝子異常」(p.116～134)</p> <p>病態生理学：第1章 F「先天異常と遺伝子異常」(p.21～24)</p>
		g 腫瘍	<p>病理学：第9章「腫瘍」(p.136～166)</p> <p>病態生理学：第1章 F「腫瘍」(p.18～21)</p> <p>臨外看総：第1章 E「腫瘍」(p.36～45)</p> <p>がん看護学：第2章「がんの病態と臨床経過」(p.19～52)</p> <p>医学概論：第5章 A-5「腫瘍」(p.85～94)</p>
D	健康状態を脅かす微生物	a 人と微生物のかかわり	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第1章 A「あなたを取り巻く感染症」(p.200～202)</p> <p>微生物学：第1章 B「微生物と人間」(p.7)、第2章 E「常在細菌叢」(p.34～37)、第6章 A-2「生体と病原体」(p.71～72)</p>
		b 微生物の種類と特徴	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第2章 A「感染症とはなにか」(p.210～212)</p> <p>病理学：第5章 B「おもな病原体と感染症」(p.82～87)</p> <p>病態生理学：第1章 D-1-2「病原体」(p.15)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 微生物の感染経路と潜伏期間	<p>微生物学：第1章 A-1「微生物の種類と特徴」(p.4) 臨床検査：第8章「微生物学的検査」(p.224~256) 成人看護学 [11] (感染症)：第2章 B「感染が成立する条件」(p.212~218) 病理学：第5章 A-1「感染と体内での拡散」(p.76~79) 病態生理学：第1章 D-2「感染の成立」(p.16) 微生物学：第6章 B-1「病原体の侵入とその経路」(p.73~74)、第8章「感染源と感染経路からみた感染症」(p.133~141) 臨外看総：第6章 E-2「感染経路に対応した感染防止策」(p.229~232)</p>
		d 感染症	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第2章「感染症とは」(p.210~228)、第5章「疾患の理解」(p.268~320) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章 F「感染症」(p.133~156) 病理学：第5章 B「おもな病原体と感染症」(p.82~87) 病態生理学：第1章 D「感染症」(p.14~18) 薬理学：第1章「抗感染症薬」(p.62~88) 微生物学：第6章「感染と感染症」(p.69~96)……以下第7~12章：「感染症」の防御、感染経路、予防、検査・診断、治療、現状・対策を含める。 臨外看総：第1章 D「感染症」(p.25~36) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章 T「多剤耐性菌感染症」(p.318~320) 病理学：第5章 C-3「薬剤耐性菌」(p.89) 病態生理学：第1章 D-3-2「病原体と化学療法薬」(p.17~13) 薬理学：第1章 A-3「薬物耐性」(p.65) 微生物学：第11章 A-3「薬剤耐性」(p.174~175)、第12章 C-2-3「院内感染で問題となっている薬剤耐性菌」(p.203)</p>
		e 薬剤耐性菌	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第5章 T「多剤耐性菌感染症」(p.318~320) 病理学：第5章 C-3「薬剤耐性菌」(p.89) 病態生理学：第1章 D-3-2「病原体と化学療法薬」(p.17~13) 薬理学：第1章 A-3「薬物耐性」(p.65) 微生物学：第11章 A-3「薬剤耐性」(p.174~175)、第12章 C-2-3「院内感染で問題となっている薬剤耐性菌」(p.203)</p>
3 疾病に対する医療	A 疾病の予防	a 予防接種	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 D「予防接種」(p.183~190) 病理学：第5章 C-4「予防接種」(p.92) 薬理学：第3章 C-2「予防接種薬」(p.110~112) 微生物学：第12章 C-4「ワクチンと予防接種」(p.208~211)</p>
	B 疾病の診断	a 健康な状態からの変化を確認する診断過程 b 全身状態評価のための一般的検査 c 特殊な検査(放射線、MRI、超音波、内視鏡)	<p>[[成人看護学] 各巻の第4章 A、B] 医学概論：第6章「病気の診断」(p.100~106) [[成人看護学] 各巻の第4章 A、B] 臨床検査：第2部「おもな臨床検査」(p.60~333) 医学概論：第6章 C-4「診断と検査」(p.103~105) [[成人看護学] 各巻の第4章 A、B] 病理学：付章「病理診断の実際」(p.320~329) 微生物学：第10章「感染症の検査と診断」(p.155~168) 臨床検査：第10章 II「画像検査」(p.318~328)、III「内視鏡検査」(p.328~333) 臨床放射線医学：第1部「画像診断」(p.15~168)</p>
	C 疾病の治療	a 手術療法と適応 b 麻酔 c 放射線による治療	<p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第4章 D「手術療法を受ける対象者への看護」(p.278~290) [[成人看護学] 各巻の第4章 B または C] 臨外看総：第1章 E-4-1「手術療法」(p.43)、第3章 A「外科的基本手技」(p.126~146)、B「低侵襲治療」(p.152~160) 薬理学：第6章 B「全身麻酔薬」(p.155~159) 臨外看総：第2章 A「麻酔法」(p.54~80) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第4章 C「放射線療法を受ける対象者への看護」(p.269~278) 病理学：第9章 D-4-2「放射線療法」(p.162)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 輸液療法・輸血	<p>臨外看総：第1章 E-4-2「放射線療法」(p.43~44) 臨床放射線医学：第2部「放射線療法」(p.169~242) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 4「静脈内注射」(p.306~322)、I「輸血管理」(p.322~327) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章 C-5-2「出血とその対策」(p.82~86) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 D「輸血業務と事故防止」(p.81~93) 薬理学：付章「輸液製剤・輸血剤」(p.298~311) 臨外看総：第2章 D「輸血療法」(p.105~115) 救急看護学：第6章 H「輸液と輸血」(p.313~316) クリティカルケア看護学：第5章 C-1「輸液の管理」(p.159~162)</p>
		e リハビリテーション	<p>臨床検査：第6章 H「輸血に関する検査」(p.189~192) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章「障害がある人の生活とリハビリテーション」(p.222~236) 成人看護学 [3] (循環器)：第6章 F「心臓リハビリテーションと看護」(p.348~357) リハビリテーション看護：全体 医学概論：第7章 E「リハビリテーション医学」(p.116~119)</p>
		f 臓器移植	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第13章 A-2-1「臓器移植」(p.407) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第4章 F「腎移植」(p.111~113) 病理学：第4章 D「移植と再生医療」(p.69~74) 臨外看総：第3章 C「臓器移植」(p.160~168)、第5章 B-2-2「脳死と臓器移植」(p.205~206) 臨外看各：第1章 I-A-6-3「肺がんの治療・予後」(p.17~21)、第2章 I-A-5-2「心臓移植」(p.107)、第3章 I-D-11「肝移植」(p.266~267)</p>
		g 透析療法	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第4章 E「透析療法」(p.103~110) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章 A-3「透析と精神症状」(p.299)</p>
	D 疾病に対する薬物療法	a 与薬	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章「与薬の技術」(p.274~322) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 E-1「事故の視点からみた内服と薬業務の特性—注射業務との違いから理解する」(p.94~98) 薬理学：第1部 第2章 B-1「薬物の投与経路」(p.24~28)</p>
		b 薬物の体内動態、薬理作用、副作用(有害事象)	<p>薬理学：第1部 第2章 E-2「薬物の副作用」(p.48~51)</p>
		c 血糖降下薬	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-1-4「糖尿病の治療—薬物療法」(p.144~147)、巻末資料「糖尿病治療薬」(p.308~312) 薬理学：第9章 A-1「糖尿病治療薬」(p.242~248)</p>
		d 心臓に作用する薬	<p>薬理学：第7章「心臓・血管系に作用する薬物」(p.184~220)</p>
		e 降圧利尿薬	<p>薬理学：第7章 E「利尿薬」(p.203~206)</p>
		f 血液凝固に関係する薬	<p>成人看護学 [4] (血液・造血器)：第5章 D「出血性疾患」(p.119~126) 薬理学：第7章 G-4「抗血液凝固薬」(p.213~216)、G-5「血栓溶解薬および抗血小板薬」(p.218~220)</p>
		g 免疫抑制薬	<p>成人看護学 [11] (膠原病)：第4章 C-2「薬物療法」(p.117~121) 薬理学：第3章 B「免疫抑制薬」(p.106~107)</p>
		h 抗癌薬	<p>成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章 C-4-1「化学療法」(p.69~72)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		i 抗菌薬・抗ウイルス薬	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第4章 C-1-5 「化学療法に用いる薬物」 (p.120~121)</p> <p>薬理学 : 第2章 「抗がん薬」 (p.90~100)</p> <p>がん看護学 : 第4章 B 「薬物療法」 (p.110~137)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症) : 第4章 「治療」 (p.252~266)</p> <p>薬理学 : 第1章 「抗感染症薬」 (p.62~88)</p> <p>微生物学 : 第11章 B 「各種の化学療法薬」 (p.176~195)</p>
	E 医療による健康被害	a 薬害	<p>成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 R-1 「HIV 感染症」 (p.310~313)</p> <p>病理学 : 第1章 B-3-2 「医原病」 (p.11)</p> <p>病態生理学 : 第1章 A-2-2 「公害病・医原病・職業病」 (p.3~4)</p> <p>公衆衛生 : 第7章 F-2-2 「難病対策」 (p.239)</p>
		b ウイルス性肝炎	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 D-1 「肝炎」 (p.209~228)、第6章 E-4-1 「急性肝炎患者の看護」 (p.390~395)、E-4-2 「慢性肝炎患者の看護」 (p.395~397)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 F-4 「ウイルス性肝炎」 (p.281~283)</p> <p>病理学 : 第13章 D-2-2 「ウイルス性肝炎」 (p.243~245)</p> <p>微生物学 : 第16章 C-1 「肝炎ウイルス」 (p.350~357)</p> <p>臨外看総 : 第1章 D-2-2 中 「C 型肝炎ウイルス」 (p.30)</p>
		c Creutzfeldt-Jakob (クロイツフェルト・ヤコブ) 病	<p>成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 L-4 「生体材料移植由来の特殊な感染症としてのクロイツフェルト・ヤコブ病」 (p.298)</p> <p>病理学 : 第16章 A-3-5 「プリオン病」 (p.297)</p> <p>微生物学 : 第16章 C-付 「プリオンとプリオン病」 (p.358~360)</p>
		d 院内感染	<p>成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 T 「多剤耐性菌感染症」 (p.318~320)</p> <p>病理学 : 第5章 C-2 「院内感染」 (p.90)</p> <p>微生物学 : 第12章 B-2 「院内感染とその特徴」 (p.202~203)</p> <p>臨外看総 : 第6章 E 「院内(病院)感染予防」 (p.223~242)</p>

目標Ⅲ. 疾病の特性について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 神経機能の障害	A 中枢神経系の疾患	a 脳血管系の循環障害	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-1 「脳血管障害」 (p.124~146)</p> <p>病理学 : 第16章 A-2 「脳・神経系の循環障害(脳血管障害)」 (p.288~293)</p> <p>病態生理学 : 第12章 B-2 「脳循環障害」 (p.240~242)</p> <p>臨外看各 : 第4章 I-A-3 「脳血管障害」 (p.368~373)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第4章 A 「脳血管障害」 (p.136~196)</p>
		b 頭蓋内圧亢進に伴う症状	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-6 「頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア(脳嵌入)」 (p.81~85)、第5章 A-2 「脳腫瘍」 (p.146~151)</p> <p>病理学 : 第16章 A-2-6 「頭蓋内圧亢進症」 (p.293)</p> <p>病態生理学 : 第12章 C-2 「脳圧の異常による障害」 (p.243)</p>
		c 神経変性(Parkinson (パーキンソン) 病、筋萎縮性側索硬化症 (ALS))	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 E-2 「脳・神経の変性疾患」 (p.187~198)</p> <p>病理学 : 第16章 A-4 「変性疾患」 (p.297~299)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 脱髄性疾患(多発性硬化症)	病態生理学：第12章 H-3-2「パーキンソン病」(p.262～264)、I-2「筋萎縮性側索硬化症(ALS)」(p.262～263) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 E-1「脱髄疾患」(p.184～187) 病理学：第16章 A-5「脱髄疾患」(p.300～301)
		e 認知症(Alzheimer〈アルツハイマー〉病、血管性認知症、Lewy〈レビー小体〉型認知症)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 I「認知症」(p.217～224) 老年看護 病態・疾患論：第4章 A「認知症」(p.119～134) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-7-1「認知症」(p.198～205) 病理学：第16章 A-4-1「アルツハイマー病」(p.286～287)
		f 中枢神経系の感染症	病態生理学：第12章 G-3「認知症」(p.252) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-3「脳の感染症」(p.198～207) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章 K「中枢神経感染症」(p.293～294) 病理学：第16章 A-3「脳・神経系の感染症」(p.294～297)
		g 頭部と脊椎の外傷	病態生理学：第12章 D-4「髄膜炎と脳炎」(p.245) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-3「頭部外傷」(p.152～157) 病理学：第16章 A-2-5「頭部外傷」(p.292) 臨外看各：第4章 I-A-2「頭部外傷」(p.366～368)、I-B-4「外傷に伴う脊髄の病変」(p.386～388)、第5章 I-A-1「外傷」(p.422～423) 救急看護学：第5章 I-1-3「各部の外傷：頭頸部・顔面外傷、脊椎・脊髄損傷」(p.231～234)
		h 脊椎の外傷と脊髄損傷	成人看護学 [10] (運動器)：第5章 D-1「脊髄損傷」(p.117) 臨外看各：第4章 I-A-4「脳腫瘍」(p.373～378)、B-3「腫瘍に伴う脊髄の病変」(p.384～386)、B-4「外傷に伴う脊髄の病変」(p.386～388) 救急看護学：第5章 I-1-3「各部の外傷：脊髄・脊髄損傷」(p.234)
		i 機能的疾患(てんかん、頭痛)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-8「頭痛」(p.86～88)、第5章 H「てんかん」(p.212～217) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-8「てんかん」(p.212～215) 病態生理学：第12章 E「頭痛」(p.247～248)、H-4「けいれん・てんかん」(p.256～258)
		j 二次的に意識障害・神経障害を起こす疾患	成人看護学 [5] (消化器)：第3章 L「意識障害(肝性脳症)」(p.65～69) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-1「糖尿病」(p.132～164) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-1「意識障害」(p.56～63)、第5章 A-1「脳血管障害」(p.124～146)、G-2「おもな中毒性疾患」(p.208～212) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 G「尿毒症」(p.59～60) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-7-2「症状精神病」(p.205～207)、C-7-3「精神作用物質使用による精神および行動の障害」(p.207～213) 病態生理学：第12章 G-1「意識障害」(p.249～250)
		k 腫瘍	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-2「脳腫瘍」(p.146～151) 成人看護学 [10] (運動器)：第5章 H-9「脊髄腫瘍」(p.177～178) 病理学：第16章 A-6「脳腫瘍」(p.301～302)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 末梢神経系の疾患	a Guillain-Barré (ギラン・バレー) 症候群	病態生理学：第12章D「脳腫瘍」(p.245～246) 臨外看各：第4章I-A-4「脳腫瘍」(p.373～378) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章C-3「ギラン・バレー症候群」(p.169～170) 成人看護学 [10] (運動器)：第5章F-3-2「多発性ニューロパチー」(p.165～166)
		b 糖尿病性神経障害	病理学：第16章A-7-1「末梢神経障害」(p.302) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章B-1-5「糖尿病の慢性合併症—糖尿病神経障害」(p.154～156) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章C-1「糖尿病性ニューロパチー」(p.168)
		c 圧迫性神経障害	病理学：第6章C-3「糖尿病の合併症」(p.99) 病態生理学：第13章D-1「末梢神経性の感覚障害」(p.277) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章C-5「単ニューロパチー」(p.171～173) 病態生理学：第12章H-6-2「末梢神経の圧迫障害」(p.260～261)
	C 感覚機能の障害	a 視覚の障害	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-4-2中「視野障害」(p.76)、B-5-1「対光反射の障害と瞳孔不同」(p.76～78) 成人看護学 [13] (眼)：第3章A「視機能に関連した症状」(p.28～31)、第5章A「機能の障害」(p.72～81) 病理学：第18章A-1「眼の疾患」(p.312～314) 病態生理学：第13章A「視覚器の機能とその異常」(p.266～270) リハビリテーション看護：第6章A「視覚障害」(p.304～324)
		b 聴覚・平衡覚の障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第5章A「耳疾患」(p.106～132) 病理学：第18章A-1「耳の疾患」(p.314～315) 病態生理学：第13章B「聴覚器の機能とその異常」(p.270～274) リハビリテーション看護：第6章B「聴覚障害」(p.324～334)
		c 嗅覚と味覚の障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第3章B-3「嗅覚障害」(p.44)、C-6「味覚障害」(p.151) 病態生理学：第13章C「味覚・嗅覚とその異常」(p.274～276)
		d 皮膚の障害(湿疹、アトピー性皮膚炎、带状疱疹、疥癬)	成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章C「アトピー性皮膚炎」(p.39～40) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章A-1「湿疹・皮膚炎群」(p.80～86)、「带状疱疹」(p.144～145)、「疥癬」(p.150～151) 病理学：第18章B「皮膚の疾患」(p.315～318) 病態生理学：第2章A-3「体内の反応による皮膚の異常」(p.31～33)
5 呼吸機能の障害	A 気道と肺の疾患	a 気道・肺の炎症	成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章A「感染症」(p.138～164) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章B「上気道感染症」(p.270～272)、C「下気道感染症」(p.272～274) 病理学：第12章A-1「気道」(p.202)、B-2「肺炎」(p.206～213) 病態生理学：第7章C「呼吸器系の防御機構の障害」(p.126～132)
		b 気道の閉塞をきたす疾患(気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患)	成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章C-1「気管支喘息」(p.176～181)、C-3「慢性閉塞性肺疾患」(p.183～188) 病理学：第12章B-3「閉塞性肺疾患」(p.214～216)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 肺循環障害(肺梗塞、肺塞栓症)	病態生理学：第7章 B-4「気管支喘息」(p.131~132)、D-5「閉塞性肺疾患」(p.135~138) リハビリテーション看護：第5章 A「慢性閉塞性肺疾患」(p.264~280) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 D「肺血栓塞栓症」(p.188~191)
		d 肺腫瘍(癌、中皮腫)	病理学：第12章 B-4「肺の循環障害」(p.217) 病態生理学：第7章 F「肺循環の障害」(p.138~139) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 G「肺腫瘍」(p.197~210) 病理学：第12章 B-5「肺腫瘍」(p.218~221)、C-1-4「悪性胸膜中皮腫」(p.222) 病態生理学：第7章 D-3「気道における空気の通過障害」(p.134) 臨外看各：第1章 I-A-5「肺良性腫瘍」(p.13)、I-A-6「肺がん」(p.13~21)、I-A-7「転移性肺腫瘍」(p.21) がん看護学：第4章 C-3-5「治療決定の例(肺がん)」(p.146~147)
		e 呼吸不全	成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 E「呼吸不全」(p.191~195) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-5-4「呼吸障害」(p.80~81) 病態生理学：第7章 B-2「呼吸不全」(p.126) 救急看護学：第5章 C「呼吸障害への対応」(p.183~192) クリティカルケア看護学：第3章 C-1「呼吸不全」(p.56)
		f 気胸	成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 I-3「自然気胸」(p.212~215) 病理学：第12章 C-3「気胸」(p.221) 病態生理学：第7章 B-2-2「気胸」(p.134)
6 循環機能の障害	A 心臓の疾患	a 先天性心疾患	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 I「先天性心疾患」(p.211~220) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第8章 B-2「先天性心疾患」(p.193~202) 病理学：第9章 B-2「先天性心疾患(心奇形)」(p.174~177) 病態生理学：第6章 A-2-c-1「先天性心疾患」(p.100~103) 臨外看各：第6章 I-C「先天性心疾患」(p.487~505)
		b 虚血性心疾患	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A「虚血性心疾患」(p.120~149) 病理学：第10章 B-5「虚血性心疾患」(p.179~180) 病態生理学：第6章 A-2-a「冠循環の異常」(p.93~97) 臨外看各：第2章 I-A-3-4「虚血性心疾患」(p.97~100) リハビリテーション看護：第5章 B「虚血性心疾患」(p.281~298)
		c 心筋症	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 G-1「心筋症」(p.205~209) 病理学：第10章 B-6「心筋症」(p.183) 病態生理学：第6章 A-2-c-3「心筋症」(p.105)
		d 心不全(右心不全、左心不全、心タンポナーデ)	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 B「心不全」(p.149~161) 病理学：第10章 B-3「心不全」(p.177) 病態生理学：第6章 A-2-e「心不全」(p.106~107)
		e 不整脈	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 D「不整脈」(p.171~198) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 E-5「不整脈」(p.55)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		f 心内膜炎と弁膜疾患	<p>病態生理学：第6章 A-2-b「心筋収縮の指令の障害(不整脈)」(p.97~100)</p> <p>臨外看各：第2章 I-A-4「不整脈の外科的治療」(p.102~105)</p> <p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 E「弁膜症」(p.198~203)、F「心膜炎」(p.204~205)</p> <p>病理学：第10章 B-7「心内膜と心膜の疾患」(p.183~184)、B-8「心臓弁膜症」(p.185~186)</p> <p>病態生理学：第6章 A-2-c-2「弁膜の機能不全」(p.103~105)、A-2-d「心膜の障害」(p.105~106)</p> <p>臨外看各：第2章 I-A-3-1「僧帽弁の疾患」(p.92~94)、I-A-3-2「大動脈弁の疾患」(p.95~96)、I-A-3-3「連合弁膜症」(p.96~97)</p>
	B 血管系の疾患	a 動脈硬化症	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A-3「冠状動脈硬化の危険因子」(p.143~149)</p> <p>病理学：第10章 A-2「動脈硬化症」(p.170~173)</p>
		b 高血圧	<p>病態生理学：第6章 B-2-c-1「動脈硬化症」(p.115)</p> <p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 C「血圧異常」(p.161~171)</p> <p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 E-1「高血圧」(p.52~53)</p> <p>病理学：第3章 J「高血圧症」(p.44~46)</p> <p>病態生理学：第6章 B-2-b「血圧の上昇による病態」(p.114)</p>
		c 閉塞性動脈硬化症	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 J-3-4「閉塞性動脈硬化症」(p.223)</p> <p>病理学：第10章 A-2「動脈硬化症」(p.170~173)</p> <p>病態生理学：第6章 B-2-c-1「動脈硬化症」(p.115)</p> <p>臨外看各：第2章 I-B-2-2「慢性動脈閉塞」(p.111~114)</p>
		d 大動脈瘤・大動脈解離	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 J-1「大動脈瘤」(p.220~221)</p> <p>病理学：第10章 A-3「動脈瘤・大動脈解離」(p.173)</p> <p>病態生理学：第6章 B-2-c-2「動脈瘤」(p.115)</p> <p>臨外看各：第2章 I-B-3「動脈瘤」(p.117~126)</p>
		e 静脈瘤・静脈血栓症	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 K-3「静脈瘤」(p.227~228)</p> <p>病理学：第10章 A-4「静脈の疾患」(p.173~174)</p> <p>病態生理学：第6章 B-2-d「静脈の障害」(p.115~117)</p> <p>臨外看各：第2章 I-B-4-1「下肢静脈瘤」(p.127~129)</p>
7 造血機能の障害	A 造血器の疾患	a 貧血	<p>成人看護学 [4] (血液・造血器)：第3章 A-1「貧血」(p.28~29)、C「貧血」(p.35~37)、第4章 A「赤血球系の異常」(p.46~63)</p> <p>病理学：第11章 A-2「貧血」(p.190~191)</p> <p>病態生理学：第5章 B-2「赤血球の障害」(p.75~79)</p>
		b 出血傾向と凝固・線溶系の異常	<p>成人看護学 [4] (血液・造血器)：第3章 A-1「出血傾向」(p.30)、C-6「出血性素因」(p.40~44)、第5章 D「出血性疾患」(p.119~126)</p> <p>病理学：第11章 A-7「出血性疾患」(p.195~196)</p> <p>病態生理学：第5章 D-2「出血傾向」(p.86~88)</p> <p>クリティカルケア看護学：第3章 F「凝固・線溶系障害とケア」(p.78~84)</p>
		c 白血球減少症	<p>成人看護学 [4] (血液・造血器)：第3章 C-3「白血球減少症」(p.38~40)、第4章 B-1「無顆粒球症」(p.63~64)</p> <p>病理学：第11章 A-3-2「白血球減少症」(p.192)</p> <p>病態生理学：第5章 C-2-1「白血球減少症」(p.82)</p>
		d 造血器の腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫)	<p>成人看護学 [4] (血液・造血器)：第5章 C「造血器腫瘍」(p.65~119)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 免疫機能の障害	A 膠原病	a 全身性エリテマトーデス〈SLE〉	<p>病理学：第11章 A-4「白血病」(p.192)、A-6「形質細胞腫と多発性骨髄腫」(p.194)、B-2「悪性リンパ腫」(p.196~199)</p> <p>病態生理学：第5章 C-3「白血球の腫瘍化」(p.82~84)</p> <p>成人看護学 [11] (膠原病)：第5章 B「全身性エリテマトーデス」(p.130~133)</p> <p>病理学：第4章 C-3「膠原病と類縁疾患」(p.68~69)</p> <p>病態生理学：第3章 C-2-2「全身性自己免疫疾患」(p.52)</p>
		b 関節リウマチ	<p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 B-2「関節リウマチとその類縁疾患」(p.136~143)</p> <p>成人看護学 [11] (膠原病)：第5章 A「関節リウマチ」(p.128~130)</p> <p>病理学：第4章 C-3「膠原病と類縁疾患」(p.68~69)、第17章 4-3「関節リウマチ」(p.309)</p> <p>病態生理学：第3章 C-2-2「全身性自己免疫疾患」(p.52)</p> <p>リハビリテーション看護：第3章 C「関節リウマチ」(p.116~133)</p>
		c Sjögren〈シエーグレン〉症候群	<p>成人看護学 [11] (膠原病)：第5章 G「シエーグレン症候群」(p.142~143)</p> <p>病理学：第4章 C-3「膠原病と類縁疾患」(p.68~69)</p> <p>病態生理学：第3章 C-2-2「全身性自己免疫疾患」(p.52)</p>
	B アレルギー性疾患	a 花粉症〈アレルギー性鼻炎〉	<p>成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章 B「アレルギー性鼻炎」(p.38)</p> <p>病理学：第4章 C-1-1「I型アレルギー(即時型アレルギー)」(p.61~62)</p> <p>病態生理学：第3章 C-1「I型アレルギー」(p.46~48)</p> <p>臨床検査：第6章 E「アレルギー検査」(p.183~184)</p>
		b 蕁麻疹	<p>成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章 F「蕁麻疹」(p.43~44)</p> <p>成人看護学 [12] (皮膚)：第5章 A-2-1「蕁麻疹」(p.86~87)</p> <p>病理学：第18章 B-3「蕁麻疹」(p.316)</p> <p>病態生理学：第3章 C-1「I型アレルギー」(p.46~48)</p>
		c 接触皮膚炎	<p>成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章 G「接触皮膚炎」(p.44~45)</p> <p>成人看護学 [12] (皮膚)：第5章 A-1-2「接触皮膚炎」(p.82~83)</p> <p>病理学：第4章 C-1-4「IV型アレルギー(遅延型アレルギー)」(p.66)、第17章 B-3「接触皮膚炎」(p.316)</p> <p>病態生理学：第3章 C-4「IV型アレルギー」(p.50)</p>
	C 免疫不全	a ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉感染症	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第5章 R-1「HIV感染症」(p.310~313)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第7章 I B-14「後天性免疫不全症候群(エイズ)」(p.381)</p> <p>病理学：第4章 B-4「免疫不全症」(p.60)</p> <p>病態生理学：第3章 B-3「T細胞の機能低下」(p.45)</p> <p>微生物学：第16章 B-11-2「ヒト免疫不全ウイルス」(p.347~350)</p> <p>臨外看護：第1章 D-1-2「HIV」(p.30)</p>
9 栄養の摂取・吸収・代謝機能の障害	A 栄養バランスの不均衡による疾患	a メタボリックシンドローム	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A-3-7「複数の因子を保有する病態」(p.147~148)</p> <p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-3-4「メタボリックシンドローム」(p.179~180)</p> <p>生化学：第17章 C-3「脂質異常とメタボリックシンドローム」(p.259~260)</p> <p>栄養学：第9章 F-3-2「メタボリックシンドローム」(p.216)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 肥満	<p>病理学：第6章 A「脂質代謝障害」(p.94) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A-3-6「肥満」(p.146~147) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-3「肥満症とメタボリックシンドローム」(p.175~180) 栄養学：第9章 F-3-1「肥満」(p.214~216) 病理学：第6章 A-1「肥満」(p.94)</p>
		c 糖尿病	<p>栄養学：第9章 F-3-1「肥満」(p.214~216) 病理学：第6章 A-1「肥満」(p.94) 栄養食事療法：第8章 A「肥満」(p.130~133) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-1「糖尿病」(p.132~164) 生化学：第17章 B「糖尿病」(p.254~257) 栄養学：第9章 F-3-7「糖尿病」(p.218~220) 病理学：第6章 C「糖尿病」(p.98~100) 病態生理学：第10章 B-2「糖代謝の異常」(p.210~214) 栄養食事療法：第8章 D「糖尿病」(p.138~141) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A-3-1「脂質異常症」(p.144~146) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-2「脂質異常症」(p.165~174) 生化学：第17章 C「脂質異常症」(p.258~260) 栄養学：第9章 F-3-8「脂質異常症」(p.220~221) 病理学：第6章 A「脂質代謝異常」(p.43) 病態生理学：第10章 C-2「脂質異常症」(p.216) 栄養食事療法：第8章 E「脂質異常症」(p.141~144)</p>
		d 脂質異常症(高脂血症)	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A-3-1「脂質異常症」(p.144~146) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-2「脂質異常症」(p.165~174) 生化学：第17章 C「脂質異常症」(p.258~260) 栄養学：第9章 F-3-8「脂質異常症」(p.220~221) 病理学：第6章 A「脂質代謝異常」(p.43) 病態生理学：第10章 C-2「脂質異常症」(p.216) 栄養食事療法：第8章 E「脂質異常症」(p.141~144)</p>
		e 高尿酸血症と痛風	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-4「尿酸代謝障害」(p.180~184) 生化学：第17章 D「高尿酸血症・痛風」(p.260~263) 栄養学：第9章 F-3-9「高尿酸血症・痛風」(p.221~222) 病理学：第6章 D-2「痛風」(p.101) 病態生理学：第10章 D-2「高尿酸血症」(p.217~218) 栄養食事療法：第8章 F「高尿酸血症・痛風」(p.144~146)</p>
		f 必須栄養素とエネルギーの不足による疾患	<p>栄養学：第9章 F-3-3「やせ」(p.216~217)、F-3-4「タンパク質・エネルギー低栄養状態」(p.217) 栄養食事療法：第8章 B「エネルギー・タンパク質欠乏症」(p.133~134)</p>
		g ビタミン欠乏症	<p>栄養学：第9章 F-3-5「ビタミンの欠乏症・過剰症」(p.217~218) 栄養食事療法：第8章 C「ビタミン・ミネラル欠乏症」(p.135~138)</p>
	B 口腔、咽頭と食道の疾患	a 口腔、咽頭と食道の機能障害<咀嚼・嚥下機能障害>	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第3章 A「嚥下困難」(p.46~47) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-5-2「嚥下障害」(p.78~79) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：特論「摂食・嚥下障害患者の看護」(p.228~249) 成人看護学 [15] (歯・口腔)：第3章 B-3-1「咀嚼障害」(p.41)、B-3-2「嚥下障害」(p.41~42) 病態生理学：第8章 B「咀嚼・嚥下の障害」(p.145~146) リハビリテーション看護：第4章 A-5-4「摂食・嚥下障害」(p.168~175)、B-5-3「摂食・嚥下障害」(p.222~224)</p>
		b 口腔、咽頭と食道の疾患(逆流性食道炎)	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 A「食道の疾患」(p.142~152) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第5章 C「口腔・咽喉頭疾患」(p.148~170)、D「気道・食道・頸部疾患と音声・言語障害」(p.170~177)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c う歯・歯周病	<p>成人看護学 [15] (歯・口腔) : 第 5 章「疾患の理解」(p.108~161)</p> <p>病理学 : 第 13 章 A「口腔・食道の疾患」(p.226~228)</p> <p>病態生理学 : 第 8 章 B-2-2「逆流防止機構の障害」(p.147)</p> <p>臨外看各 : 第 3 章 I-A「食道の疾患」(p.172~184)</p> <p>成人看護学 [15] (歯・口腔) : 第 5 章「疾患の理解」(p.108~161)</p>
	C 消化管の疾患	a 消化管の炎症と潰瘍	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 A「食道の疾患」(p.142~152)、B「胃・十二指腸疾患」(p.152~173)、C「腸および腹膜疾患」(p.173~208)</p> <p>病理学 : 第 13 章 B-2「胃の疾患」(p.229~231)、C-2「腸の疾患」(p.234~240)</p> <p>病態生理学 : 第 8 章 C-1「胃の防御機構の破綻」(p.148~150)</p> <p>臨外看各 : 第 3 章 I-A「食道の疾患」(p.172~184)、I-B-2「胃・十二指腸潰瘍」(p.187~192)、I-B-4「その他の外科的疾患」(p.199)、I-C-3「虚血性腸疾患」(p.206~208)、I-C-4「非特異性炎症性腸疾患」(p.208~215)、I-C-5「特異性炎症性腸疾患」(p.215~216)</p>
		b 消化管の腫瘍	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 A「食道の疾患」(p.142~152)、B「胃・十二指腸疾患」(p.152~173)、C「腸および腹膜疾患」(p.173~208)</p> <p>病理学 : 第 13 章 A-3-3「食道がん」(p.228)、B-2-3「胃がん」(p.231)、C-2-6「大腸がん」(p.239)</p> <p>病態生理学 : 第 8 章 D-3「胃がん」(p.151)</p> <p>臨外看各 : 第 3 章 I-A-7「食道がん」(p.179~184)、I-B-3「胃がん」(p.192~199)、I-C-9「腸管ポリープ」(p.223~226)、I-C-10「小腸腫瘍」(p.226~227)、I-C-11「大腸腫瘍」(p.227~234)</p>
		c イレウス	<p>がん看護学 : 第 4 章 A-4「手術の種類」(p.99~108)</p> <p>成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 C-6「イレウス(腸閉塞症)」(p.189~193)</p> <p>病理学 : 第 12 章 C-1-5「イレウス」(p.230)</p> <p>病態生理学 : 第 8 章 D-3-2「腸閉塞」(p.154~155)</p> <p>臨外看総 : 第 9 章 C-5-1「術後腸閉塞(術後イレウス)」(p.355~357)</p>
		d 腹壁、腹膜、横隔膜の疾患	<p>臨外看各 : 第 3 章 I-C-7「イレウス」(p.218~221)</p> <p>成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 C「腸および腹膜疾患」(p.173~209)</p> <p>病理学 : 第 13 章 C-3「腹膜の疾患」(p.241)</p> <p>病態生理学 : 第 8 章 G-2「腹膜・腹水の異常」(p.172~174)</p> <p>臨外看各 : 第 3 章 I-E-8「腹膜炎」(p.221~223)、I-E-13「急性腹症」(p.238~242)、I-E-14「腹部外傷」(p.242~245)</p>
	D 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患	a 肝臓・胆嚢・膵臓の炎症	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 D「肝臓・胆嚢の疾患」(p.209~255)、E「膵臓の疾患」(p.255~262)</p> <p>病理学 : 第 13 章 D-2「肝臓・胆管・胆嚢の疾患」(p.242~247)、E-2「膵臓の疾患」(p.251)</p> <p>病態生理学 : 第 8 章 E-2「肝細胞・肝小葉の障害」(p.160~164)、F-2「膵臓の機能の障害」(p.169~170)</p> <p>臨外看各 : 第 3 章 I-D-5「肝膿瘍」(p.258~259)、I-D-8「胆嚢炎・胆管炎」(p.264~256)、I-E-3「膵炎」(p.271~273)、I-E-4「膵嚢胞」(p.274)</p>
		b 肝硬変	<p>臨床検査 : 第 5 章 B「血清酵素の検査」(p.123~128)</p> <p>成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 D-2「肝硬変症」(p.228~235)</p> <p>病理学 : 第 13 章 D-2-5「肝硬変症」(p.247)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 肝臓・胆嚢・膵臓の腫瘍	<p>病態生理学：第8章 E-2-4「肝硬変」(p.161) 成人看護学 [5] (消化器)：第5章 D「肝臓・胆嚢の疾患」(p.209~255)、E「膵臓の疾患」(p.255~262) 病理学：第13章 D-2-6「肝がん」(p.248)、E-2-3「膵がん」(p.252)、第15章 B-5「膵島の疾患」(p.285) 病態生理学：第8章 E-2-6「肝がん」(p.163)、F-2-3「膵臓がん」(p.170) 臨床看各：第3章 I-D-3「肝(臓)がん」(p.251~257)、I-D-4「その他の肝腫瘍(瘤)」(p.257~258)、I-D-9「胆嚢がん」(p.265)、I-D-10「胆管がん」(p.266)、I-E-5「膵(臓)がん」(p.275~278)、I-E-6「膵内分泌腫瘍」(p.278~280)</p>
		d 肝不全	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 D-4「肝不全」(p.240~241) 病態生理学：第8章 E-2「肝細胞・肝小葉の障害」(p.160~164)</p>
		e 胆汁代謝・排泄の障害	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第3章 K「黄疸」(p.64~65) 病理学：第6章 D-4「黄疸」(p.102~103) 病態生理学：第8章 E-4「胆汁産生と胆道の障害」(p.165~166) 臨床看各：第3章 I-D-2「黄疸」(p.249~251) 臨床検査：第5章 E「胆汁排泄関連物質の検査」(p.140~143)</p>
10 排泄機能の障害	A 泌尿器の疾患	a 腎炎・慢性腎臓病	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 A-3「慢性腎臓病」(p.123~126)、C「糸球体腎炎」(p.130~135)、D「全身性疾患による腎障害」(p.135~145) 病理学：第14章 A「腎・泌尿器系の疾患」(p.254~260) 病態生理学：第9章 B「腎機能の障害」(p.180~188) 臨床検査：第5章 F「腎機能の検査」(p.147~152)</p>
		b 尿路の炎症	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 I「尿路・性器の感染症」(p.153~159) 病態生理学：第11章 C-2「泌尿器の機能の障害」(p.191~193)</p>
		c 腎・尿路の腫瘍	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 M「尿路・性器の腫瘍」(p.175~186) 病理学：第14章 A-6「腎がん」(p.260)、A-7-3「尿路がん」(p.261) 病態生理学：第11章 B-8「腎臓から発生する腫瘍」(p.188)、C-3「尿路系の悪性腫瘍」(p.194)</p>
		d 尿路の通過障害	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-5-3「排泄障害」(p.79~80) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 J「尿路の通過障害と機能障害」(p.159~166) 病理学：第14章 A-7「尿路の疾患」(p.260~261) 病態生理学：第11章 C-2-2「通過障害」(p.192~193)</p>
		e 排尿障害	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-5-3「排泄障害」(p.79~80) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 B「排尿に関連した症状」(p.46~49) 病態生理学：第9章 C-2「泌尿器の機能の障害」(p.191~193) リハビリテーション看護：第4章 A-5-9「排尿障害」(p.190~192)、C-5-3「排尿障害」(p.245~248)</p>
		f 腎不全	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 A「腎不全と慢性腎臓病」(p.117~126) 病理学：第14章 A-5「腎不全」(p.259~260) 病態生理学：第11章 B-7「腎不全」(p.185~188) 臨床検査：第5章 F「腎機能の検査」(p.147~152)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 排便の障害	a 便秘	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第3章 G 「便秘」 (p.56~58)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-5-3 「排泄障害」 (p.79~80)</p> <p>栄養学 : 第9章 F-2-b-2 「便秘」 (p.210~211)</p> <p>病態生理学 : 第8章 D-1-2 「便秘」 (p.152~153)</p> <p>臨外看総 : 第9章 F-2-5 「ストーマ(人工肛門)」 (p.379)</p> <p>栄養食事療法 : 第6章 K 「便秘」 (p.91~93)</p>
		b 下痢	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第3章 F 「下痢」 (p.55~56)</p> <p>栄養学 : 第9章 F-2-b-1 「下痢」 (p.210)</p> <p>病態生理学 : 第8章 D-2 「下痢」 (p.153~154)</p> <p>栄養食事療法 : 第6章 L 「下痢」 (p.93~95)</p>
11 内部環境調節機能の障害	A 内分泌系の疾患	a 下垂体の疾患	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-1 「視床下部-下垂体前葉系疾患」 (p.82~94)、A-2 「視床下部-下垂体後葉系疾患」 (p.94~97)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-2-2 内 「下垂体腺腫」 (p.149~151)</p> <p>病理学 : 第15章 B-1 「下垂体の疾患」 (p.277~279)</p> <p>病態生理学 : 第10章 A-2 「視床下部-下垂体系のはたらきとその異常」 (p.197~200)</p> <p>臨外看各 : 第4章 I-A-4-3 「下垂体腺腫」 (p.377)</p> <p>臨床検査 : 第7章 A、B 「下垂体ホルモンの検査」 (p.196~201)</p>
		b 甲状腺の疾患	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-3 「甲状腺疾患」 (p.79~112)</p> <p>病理学 : 第15章 B-2 「甲状腺の疾患」 (p.279~281)</p> <p>病態生理学 : 第10章 B-3 「甲状腺のはたらきとその異常」 (p.200~203)</p> <p>臨外看各 : 第5章 I-B 「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」 (p.427~438)</p> <p>臨床検査 : 第7章 C 「甲状腺ホルモンの検査」 (p.202~208)</p>
		c 上皮小体(副甲状腺)の疾患	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-4 「副甲状腺疾患」 (p.112~118)</p> <p>病理学 : 第15章 B-3 「副甲状腺の疾患」 (p.281~282)</p> <p>病態生理学 : 第10章 A-4 「副甲状腺のはたらきとその異常」 (p.204~205)</p> <p>臨外看各 : 第5章 I-B 「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」 (p.427~438)</p> <p>臨床検査 : 第7章 D 「副甲状腺ホルモンの検査」 (p.208~209)</p>
		d 副腎の疾患	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-5 「副腎疾患」 (p.118~125)</p> <p>病理学 : 第15章 B-4 「副腎の疾患」 (p.282~284)</p> <p>病態生理学 : 第10章 A-5 「副腎皮質のはたらきとその異常」 (p.205~208)、B-6 「副腎髄質のはたらきとその異常」 (p.208)</p> <p>臨外看各 : 第3章 I-H 「副腎の疾患」 (p.297~305)</p> <p>臨床検査 : 第7章 E、F 「副腎ホルモンの検査」 (p.209~215)</p>
		e 多発性内分泌腫瘍	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-8 「多発性内分泌腫瘍症」 (p.128~129)</p> <p>病理学 : 第15章 B-6 「多発性内分泌腫瘍症」 (p.286)</p> <p>臨外看各 : 第3章 I-E-6-3 「多発性内分泌腺腫症」 (p.279)</p>
	B 体液の調節障害	a 水と電解質の異常	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 C 「浮腫」 (p.49~51)、D 「脱水」 (p.51~52)、E-4 「電解質の異常」 (p.57~58)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 酸塩基平衡の異常	<p>病態生理学：第4章 A-2「体液・電解質の異常」(p.59～65)</p> <p>クリティカルケア看護学：第5章 C「体液・循環管理」(p.159～164)</p> <p>臨床検査：第5章 I「水・電解質の検査」(p.152～157)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 B-4「酸塩基平衡」(p.38～39)、第4章 B-8-2「酸塩基平衡」(p.105～108)</p> <p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 E-5「酸塩基平衡の障害」(p.58～59)</p> <p>病態生理学：第4章 B-2「酸・塩基平衡の異常」(p.67～70)</p> <p>クリティカルケア看護学：第5章 C「体液・循環管理」(p.159～164)</p>
	C 自律神経系の機能障害	a 自律神経失調に伴う身体変化<不定愁訴>	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-4-5「身体表現性障害」(p.189～190)、C-12「心身症」(p.219～220)
12 運動機能の障害	A 骨・関節・筋肉・神経筋接合部の疾患	a 骨折・脱臼・捻挫	<p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 A「骨折」(p.92～110)、B「脱臼」(p.110～115)、C「捻挫および打撲」(p.115～116)、</p> <p>病理学：第17章 1「骨折」(p.306)</p> <p>リハビリテーション看護：第3章 B「骨折」(p.92～115)</p>
		b 骨粗鬆症	<p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 H-7「骨粗鬆症」(p.175～177)</p> <p>老年看護 病態・疾患論：第4章 J-7「骨粗鬆症」(p.228～231)</p> <p>生化学：第17章 A「骨粗鬆症」(p.252～253)</p> <p>病理学：第17章 3「骨粗鬆症」(p.306)</p> <p>病態生理学：第10章 E-2-2「骨粗鬆症」(p.219)</p>
		c 骨の腫瘍	<p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 C「骨腫瘍および軟部腫瘍」(p.150～157)</p> <p>病理学：第17章 6「骨肉腫」(p.310)、7「転移性骨腫瘍」(p.310)</p>
		d 変形性関節症	<p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 B-7「関節の変性疾患：変形性関節症」(p.148～150)</p> <p>老年看護 病態・疾患論：第4章 J-2「変形性膝関節症」(p.222～224)</p> <p>病理学：第17章 4-2「変形性関節症」(p.308)</p> <p>病理学：第17章 5「椎間板ヘルニア」(p.309)</p>
		e 腰痛症(椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症)	病理学：第17章 5「椎間板ヘルニア」(p.309)
		f 筋ジストロフィー	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 D-1「筋ジストロフィー」(p.176～179)</p> <p>病理学：第16章 B-1「進行性筋ジストロフィー」(p.303)</p> <p>病態生理学：第12章 I-4「進行性筋ジストロフィー」(p.263)</p>
		g 重症筋無力症	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 D-5「重症筋無力症」(p.181～184)</p> <p>病理学：第16章 B-2「重症筋無力症」(p.304)</p> <p>病態生理学：第12章 I-3「重症筋無力症」(p.263)</p>
	B 活動や行動に制限による疾患	a 廃用症候群	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 A-13「褥瘡の予防と看護」(p.301～306)</p> <p>在宅看護論：第5章 C-1「褥瘡」(p.191～199)</p> <p>病理学：第7章 A-2「老年症候群と廃用症候群」(p.106)</p> <p>病態生理学：第12章 I-1「筋収縮のしくみ」(p.261)</p> <p>クリティカルケア看護学：第3章 I-2-2「褥瘡」(p.102)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			リハビリテーション看護：第1章 E-1-1「急性期リハビリテーション」(p.26)、第3章 B-3「骨折のリハビリテーションプログラム」(p.94~96)、B-4-2「関節拘縮」(p.102~106)、B-4-3「筋萎縮」(p.106~115)、第4章 A-5-2「運動障害」(p.148~164)、B-5-1「運動障害」(p.201~218)
13 生殖機能の障害	A 性・生殖器の疾患	a 女性生殖器の疾患	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章「疾患の理解」(p.96~203) 病理学：第14章 B-3「女性生殖器の疾患」(p.264~270) 病態生理学：第11章 A「女性生殖器の機能とその異常」(p.222~229)
		b 乳腺の疾患	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 B-7「乳房の疾患」(p.145~170) 病理学：第14章 C「乳腺の疾患」(p.271~272) 病態生理学：第11章 A-7「乳がん」(p.230~231) 臨外看各：第4章 I-D「乳腺の疾患」(p.26~37)
		c 男性生殖器の疾患(前立腺腫瘍、精巣腫瘍)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 I「尿路・性器の感染症」(p.153~159)、M「尿路・性器の腫瘍」(p.175~186)、N「発生・発育の異常」(p.186~190)、N「男性不妊症、男性性機能障害、その他の男性生殖器疾患」(p.190~192) 病理学：第14章 B-2「男性生殖器の疾患」(p.262~264) 病態生理学：第11章 B-2「男性生殖器の異常」(p.232~233)
		d 性機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-6「性腺疾患」(p.125~127) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 J-3「精巣および性機能障害」(p.65)、O「男性不妊症、男性性機能障害、その他の男性生殖器疾患」(p.190~192) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 C「機能的疾患」(p.171~198)、第6章 E「臓器別疾患・機能的疾患患者の看護」(p.238~269) 病態生理学：第11章 B-3「勃起障害」(p.233) リハビリテーション看護：第4章 A-5-11「性機能障害」(p.194~195)、C-5-5「性機能障害」(p.250~255)